

自立相談支援事業 支援好事例（架空）

場所	沼津市自立相談支援センター		
性別	女	年齢	20代
支援期間	3ヶ月		
特徴・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業の作業員より事務職への転職を希望、退職し就労活動を始める。 ・積極的に就労活動を続けるが、就職に結びつかない。 ・貯金が底をつき、家賃、公共料金の滞納がある。 ・家族とは疎遠で、支援は期待できない。 		
支援メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・住居確保給付金申請 ・食料支援 ・就労支援（失業給付金申請含む） ・生活福祉資金貸付申請 		
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納分は後日の分割支払いとし、住宅確保給付金を活用し月々の家賃を支払うとともに、就労活動を続ける。 ・職歴、スキルを分析し、自己理解の向上に努める。 ・フードバンクを利用し、食料を確保する。 ・未申請であった失業給付金の手続きを進め、給付金を返済資源とし生活福祉資金を借入し、生活を繋ぐ。 		
結果・改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・希望していた事務職に正社員として就職することができた。 ・ハローワークからの失業給付金の受給により、滞納分を清算することができた。 ・将来の展望が開けた事で、積極的に仕事に向き合う日々を過ごしている。 		